

令和4年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（法学部）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和4年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

出題の意図

議会における女性の過少代表の状況の改善策としてクォータ制の導入が注目されている。クォータ制の導入については、政治学・行政学・法律学・社会学など、複数の視点から様々な議論が存在する。本問題は、与えられた4つの資料を読み、書かれている内容を理解し（理解力）、多角的な論点についての主張やその論拠の相互関係を把握し（思考力）、整理してまとめる能力（表現力）を問うものである。問題文中に明記されている通り、クォータ制の導入についての解答者個人の見解を述べることを求めているわけではない。

評価ポイント

資料の内容を理解し、クォータ制を導入することの根拠とそれらへの反論を抽出できているか、複数の論点を整理し、根拠と反論の関係がわかるようにまとめられているかを中心に評価した。